

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和4年7月1日現在）

法人名	(公財) かながわトラストみどり財団							
設立年月日	昭和60年6月1日	代表者名	理事長 川本 守彦					
所在地	横浜市西区岡野2-12-20	電話番号	045-412-2525					
基本財産等	332,000,000	円	県出資額	300,000,000	円	県出資率	90.4	%

2 法人運営における現状の課題

長期債券（20年債、30年債）を購入し、基本財産の運用益増加のための工夫を行っているが、低金利により厳しい状況である。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントの中止や縮小により、会費収入などの減少及び今後、県からの補助金の減少が見込まれる中、当財団の進める県民との協働による身近な緑地保全、森林の整備や地域緑化の推進は厳しい財政環境である。

そのため、引き続き新規会員の獲得に努めるほかに、会員等に緑地保全への支援会費及び寄附金への協力を、より一層積極的に呼び掛けている。緑の募金収入は、街頭募金が減少しているため、引き続き企業、学校等への協力要請を行う。

3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	3年度自己評価	
1	ホームページアクセス	件数/月	14,851 (14,600)	14,787 (14,700)	15,390 (14,700)	13,726 (15,000)	17,246 (15,000)	A	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	ホームページの改善、SNSの情報発信の強化に努めたところ、スマートフォン等からのアクセス件数が増加したため、A評価とした。								
	備考								

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	3年度自己評価
2	トラスト会員新規会員数（普通会员）	人	722 (500)	605 (500)	514 (500)	425 (500)	469 (500)	B
	(トラスト緑地保全支援会員)	人	118 (200)	150 (210)	130 (120)	133 (120)	122 (120)	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、イベント等の中止や縮小の影響の中、新規会員数は前年度をやや上回ったが目標未達のため、B評価とした。							
備考								
新型コロナウイルス感染症の対策を取り組みながら、小規模なイベントの開催及びインターネット等を活用した会員募集に努める。								

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	3年度自己評価
3	保存契約緑地拡大面積	㎡	935 (500)	519 (500)	816 (500)	2,386 (500)	968 (500)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	葛葉緑地の保存契約面積が目標を上回って拡大したため、A評価にした。							
	備考							
令和2年度は久田緑地において、面積が大きい土地を契約した。								

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	3年度自己評価
4	森林づくりボランティア参加者数	人	10,191 (10,500)	10,120 (10,500)	9,171 (10,500)	3,496 (10,500)	4,811 (10,500)	B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止により企業等が行う森林活動が見送られたため、B評価とした。				新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら活動回数及び参加者の増加に努める。			
	備考							

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度	2年度（※1）	3年度	3年度自己評価
5	森林インストラクター養成者数（延べ） （1期 [2年間] 35名）	人	497 (496)	497 (496)	530 (531)	530 (531)	530 (530 ※2)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	令和2年度「第17期の森林インストラクター（1年目）養成講座」の中止により、令和3年度の養成者数に変更がないため、A評価とした。							
	備考							
※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は休止した。								
※2 令和2年度の休止により、令和3年度は目標数値を566人から530人に変更した。								

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	3年度自己評価
6	みどりの実践団体数 （財団事業に参加する団体数）	団体数	140 (210)	180 (220)	223 (190)	257 (200)	219 (210)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	緑の募金、みどりのトラスト会員の募集、財団主催イベントの周知及び団体の情報交換や連携の促進に努めたところ、目標を上回る参加を得たため、A評価とした。							
	備考							

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	3年度自己評価	
1	会費収入	千円	17,356 (18,000)	16,995 (18,100)	17,010 (17,600)	16,641 (17,800)	17,856 (18,000)	A	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	SDGsに取り組む企業などに広報を強化したところ、コロナ禍の厳しい中、目標に若干届かなかったものの、過去13年間の会費収入平均額を上回り、かつ最も多い会費収入を得られたため、A評価とした。				引き続き未納会員を減らすため、口座引落での会費納入の広報及び新規優待施設の確保、自然観察会等のイベントの向上に努める。また、SDGsに関連した企業等へ財団運動のPRを行い、会費収入の増加に取り組んでいく。				
	備考								
参考：会費収入平均額（過去13年間）17,159千円									

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	3年度自己評価	
2	寄附金収入 （緑の募金を除く）	千円	9,820 (3,200)	3,348 (3,300)	26,672 (3,800)	9,905 (3,900)	41,600 (4,000)	A	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	遺言等による大口寄附があり目標を上回ったため、A評価とした。								
	備考								
個人 332件 団体 21件									

No.	項目	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	3年度自己評価	
3	緑の募金収入	千円	20,680 (25,000)	20,816 (25,000)	21,200 (21,100)	17,506 (21,400)	26,030 (21,700)	A	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	企業からの大口の募金により目標を上回ったため、A評価とした。								
	備考								

4 取組実績等についての総括（法人）

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、普及啓発活動を通じてネットワークの拡大を図りながら、寄附金・募金や会員の獲得による資金調達の強化に取り組んできた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、イベントの中止や縮小により、会費収入が目標額を下回ったため、広報の拡大や退会者を減らすための情報発信を引き続き展開していく。また、自主財源の拡大を図るため、財団事業や法人運営への寄附の増強及び企業等からの事業受託の継続に努めた。

また、緑の募金収入は、引き続き、街頭募金、企業募金・学校募金の拡大に努める。

5 取組実績等についての総括（所管課）

小網代の森におけるアカテガニ放仔等のライブ中継などのホームページを通じた魅力的な情報発信や、口座振替やカード払いなどの会費納入の利便性の向上の取組が功を奏し、「ホームページアクセス数」「トラスト会員新規会員数」「森林づくりボランティア参加者数」「会費収入」など前年度を上回る実績を上げている。

特に「緑の募金収入」について過去5年間で最大の収入実績であり、努力を大いに評価したい。

令和4年度～6年度の経営改善目標において、目標の達成に向けた一層の取組とかながわのナショナル・トラスト運動の一層の普及が求められており、所管課として目標達成に向けて協力していく。

6 第三セクター等改革推進部会の総合評価・今後の取組に向けた意見

評価結果	
B	様々な媒体や新しい方策等を活用することで、緑のトラスト運動の普及に向けてより一層努めていただきたい。